

Dolphin Through

いつまでもその手の中で泳いでいたかった。

CAST

真木蔵人

遠山景織子

柏谷享助

山田真早志

丸橋 聡

瑠川あつこ

倉持裕之

浅田和義

森田純平

本田博仁

清水雄嗣

高瀬春奈 (友情出演)

牧瀬里穂 (友情出演)

大杉 漣

STAFF

製作:尾川 匠/企画:服巻泰三、伊藤秀裕

原案:真木蔵人/プロデューサー:瀬田 素

キャスティング:田辺博之/音楽:South Snow Valley

テーマ曲:KUUMA KIIMA/音楽協力:ZEBRA

撮影:栗山修司/照明:鳥越正夫/録音:土屋和之

編集:奥原 茂/脚本:羽原大介/監督:伊藤秀裕

企画協力:ブルーミングエージェンシー

制作協力:エクセレントフィルム/製作・配給:ケイエスエス



ドルフィン・スルー

KSS

FILMS ©1997 ケイエスエス

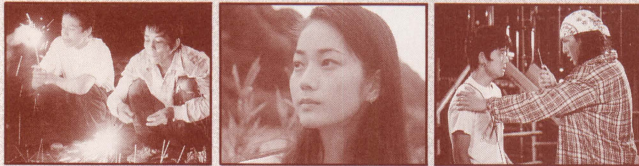
どこまでも疾走し続ける男・真木蔵人が、 青春の痛みと輝きを初めて語る。

Dolphin Throughとは……

沖に出るために波の懷に滑り込み、イルカのようにくぐり抜けることを言うサーフィン用語であり、波に乗る前のごく基本的な動作である。だが、青春という日々の中でもがき苦しむ少年たちにとって、イルカのように都会の荒波をうまくくぐり抜けるのは容易なことではない。

ここから抜け出したい……

渋谷という若者の街で、ドラッグやヒップ・ホップ、ストリート・ファッションなどに身を固めながらも焦燥感と苛立ちの日々を過ごす若者たちの生き様を赤裸々に描いた『ドルフィン・スルー』は、“ここから抜け出したい”と願う若者たちの、祈りにも似た想いが痛いほど伝わってくる青春群像映画である。



原案は真木蔵人

本作は『アウトサイダー』にインスパイアされた真木が10年間温め続けてきた企画である。尊敬する兄という存在の大きさに自分を見失う弟・誠。真木はその姿を通して、スクリーンの向こうにいる若者たちに“ここから抜け出せ”というメッセージを放っている。

青春という名の手懐けがたい獣の恐ろしさを誰よりも知る真木ならではのストーリー。この作品にかける意気込みは、彼がタイトルを『ドルフィン・スルー』と命名したことから窺うことができる。

また真木は本作で悟役としても主演をこなす。利根的に生きた過去を振り捨て、古着屋を営みながら愛する女性の面影と共に生きる寡黙な男を肩の力のかけた落ちつきのあるたたずまいで演じ、この作品に一層の深みを与えている。

悟の恋人・安奈には遠山景織子

『ポストマン・ブルース』『冷たい血』と俊英監督作の出演が相次ぐ遠山景織子が、悟の恋人役として、思い出の中に生き続ける女性を彼女ならではの透明な存在感で演じている。弟・誠には『キッズ・リターン』の柏谷享助。兄という存在を常に意識しながらも、自分の道を模索し続ける少年を見事に演じている。

監督は『男たちのかいた絵』の伊藤秀裕

ともすれば陥りやすいノスタルジックな青春ものを絶妙に回避し、“今”の空気を敏感に嗅ぎ取りながら普遍的なテーマに鋭く肉薄している。

STORY

渋谷界隈を拠点とするチーム「ウォーリアーズ」のメンバー・誠(柏谷享助)は、高校にも行かず仲間とつるみながら、目的のない日々を漫然と過ごしていた。そんな誠にとって、サーフィンが得意で誰からも信頼されている兄・悟(真木蔵人)の存在は自分を惨めに感じさせるコンプレックスの素でしかなかった。だがある日、誠は思わぬことから兄の恋人・安奈(遠山景織子)の死に関わってしまい、悟に対して絶対に打ち明けられない秘密を持ってしまう。

「俺の心の中には、見覚えさえなければ……」という最低最悪のコンプレックスが同居している」

そんな誠にとって心の支えとなるのは、デザイナー志望の親友・純平の存在と、スケボーで街を疾走する事だけ。だがそんな中、敵対するチーム「悪夢」と「ウォーリアーズ」がクスリによるいざごころから大乱闘を起こしてしまう。「悪夢」のリーダー・隼人(丸橋 聡)に激しい暴行を受けた誠は間一髪所で駆けつけた悟によって助けられたが、口もきかずにその場から逃げ去り、その一件以来ますます兄を避けるようになってしまう。そんな誠に執拗に嫌がらせをする隼人。ついに誠はキレてしまい、隼人に対して思わず鉄パイプを振り下ろしてしまう。だがそれは誠、純平、悟そして彼らを取り巻く仲間たちの運命を大きく変えてしまう事に……。

KSS

FILMS カラー/ヴィスタサイズ/35ミリ/91分 ©1997 ケイエスエス

あの頃の僕には、目の前の波しか見えなかった。

7月4日(土)より17日(金)までレイトショー!!

よる9:05より1回上映(終映よる10:40) ※毎日曜休映

●特別鑑賞券1500円発売中!(当日一般1800円の処)

●劇場窓口、エース1PG、チケットセン、チケットぴあにてお求め下さい。●劇場窓口でお求めの方に、限定ポスタープレゼント!(数に限りがあります。お早めに)

梅田ロフトB1

06(359)1080

テアトル梅田

<http://www.theatres.co.jp/cinemabox/>